学校番号	T3009

令和８年度　(学)教養科

教科	(学)教養	科目	応用教養	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・応用教養では社会で役に立つ応用的な教養を広く学びます。
・この授業に教科書はありません。自らの将来を思い浮かべ、自身に必要だと思う教養を学んでいきましょう。
・授業は個々の学びたい事柄を中心に構成しますので、自分自身が苦手とする内容や伸ばしたい内容を重点的に学習することができます。
・分からない箇所があれば積極的に質問し、苦手をひとつずつ克服していきましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
主にSPIで扱われる問題を通して、社会において必要な基本的知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
主にSPIで扱われる問題を通して、社会において必要な思考力・判断力・表現力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
主にSPIで扱われる問題を通して、社会において必要な態度を身につけ、社会において必要な知識を学ぶ力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主にSPIで扱われる問題を通して、社会において必要な基本的知識・技能を身につけている。	主にSPIで扱われる問題を通して、社会において必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。	主にSPIで扱われる問題を通して、社会において必要な態度を身につけようとしている。また社会において必要な知識を学ぼうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ＳＰＩ非言語分野に挑戦	○損益算 ○速度算 ○旅人算 ○濃度算 ○仕事算 ○順列・組合せ ○確立 ○表の読み取り ○推論 ○命題 ○数列 ○図形	a:それぞれの単元の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、表現・処理したりする技能を伸ばしている。 b:単元の各事象を多面的に考察する力を深めることができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
後期	ＳＰＩ言語分野に挑戦	○同意語 ○反意語 ○包含 ○用途 ○文法 ○ことわざ ○四字熟語 ○語彙 ○語句 ○空所補充 ○文章整序 ○長文読解	a:それぞれの単元の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、表現・処理したりする技能を伸ばしている。 b:単元の各事象を多面的に考察する力を深めることができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度